

熱中症救急処置に関わる研修



本格的に暑くなる季節を前に、熱中症救急処置に関わる研修を実施しました。

各学年毎に、各階の教室で体育部・保健部がコーディネーターとなり、熱中症対応マニュアルを確認し、教室で生徒が熱中症により具合が悪くなった場合を想定した、シミュレーション演習を取り入れた研修を行いました。



初期判断

傷病者の様子から
熱中症の疑いを判断→緊急性の判断
応急処置 1



授業担当者の指示

同フロアーの職員・職員室への応援要請
→職員の役割分担を指示（経過記録指示）
応急処置 2



救急搬送要請・保護者への連絡

→救急隊を誘導し、同乗者は状況を一番把握している職員



演習を振り返り、課題を出し合う

話し合われた課題を踏まえ、もう一度！

＊涼しい部屋の確保、氷・経口補水液が常備してある校内4箇所の冷蔵庫・AED・担架の場所等も再確認しました。

（先生方からの感想）マニュアルの確認だけでは実際には動けない。シミュレーション演習をして本当に良かった。

体育部・保健部の先生方のおかげで充実した研修になりました。